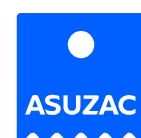
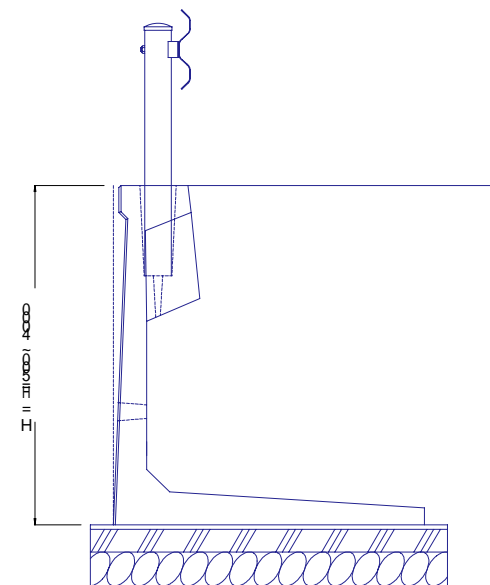


# Gr・L型擁壁 参考資料

なぜGr・L型擁壁は安心できるのか？

実績表

技術審査証明内記載資料



アスザック株式会社

# なぜGr・L型擁壁は安心できるのか？

## 【建設技術審査証明書を取得しています】

[土木系材料・製品・技術（建技審証 第0438号）]

「建設技術審査証明事業」は、新しい建設技術の活用促進に寄与することを目的として、民間において自主的に研究・開発された新技術について各会員が、依頼者の申請に基づき新技術の技術内容を学識経験者等により技術審査し、その内容を客観的に証明し、普及活動に努める事業です。Gr・L型擁壁は審査委員会の方々（大阪大学教授、国土交通省技術開発官ほか）のご指導のもと実験、調査、仕様確認などを行い証明を受けています。

### ポイント

### 縦断勾配なりに15%まで設置できるのは？

技術審査証明内に記載があります。

現場調査をして審査委員会で評価してもらっている。

平成7年から平成15年度までに設置した現場の調査結果から、「Gr・L型擁壁」は、道路曲率半径Rは22-150mの範囲で、縦断勾配は2.0～14.9%の範囲で施工が可能であることが確認された。

縦断勾配設置時の静的試験を行っていることを審査委員会で評価してもらっている。

高さ1500mmの「Gr・L型擁壁」3基を連結し、縦断勾配10%で設置した2つの試験体（合計6基、延長12m）に、衝突荷重として「道路土工・擁壁工指針」に定められた水平荷重30kNを擁壁天端から高さ0.6mの位置に静的作用させて擁壁の滑動、転倒状況および擁壁の連結性を確認して安全が確認された。

より技術審査を受け15%まで設置出来るとなっている。施工実績、試験に基づいていますし、公的機関で証明されているので安心して使用可能です。

### ポイント

### 実車衝突試験を行っているとうして安心か？

技術審査証明内に記載があります。

衝突試験により転倒・滑動が発生しないことを実車で確認出来ている。

製品に有害のひび割れが発生せず、破損しないことを実車にて確認出来ている。

車両の逸脱防止性能について実車にて確認出来ている。車両用防護柵の横梁および支柱など主要構成部材は、部材間の取れ外れなどがなく、連結保持されていた。

車両の誘導性能について実写にて確認出来ている。車両は防護柵に衝突後、横転・転覆することなく誘導されたことが確認出来ている。

より転倒・滑動や有害のひび割れがなく、逸脱防止機能があり、誘導性能があるということが実証できていて、公的機関で証明されているので安心して使用可能です。（静的試験だけではわからないことがあります）

## 【NETISに登録しています】

登録番号 QS-030051

長野県においてもこのNETISがいろいろな項目で推進されております。設計業務においてNETISが活用されるのは以下の主に項目となっています。委託業務等成績で技術力や品質の確保について適正な評価が求められており、その評価項目にNETISに登録された新技術を活用した提案がなされていか？という判断基準もありNETISは判断される基準であります。

## 【実績が全国各所であります】

平成20年までの全国施工実績 = 125.8km 629,000枚

平成15年～平成20年3月末までの長野県実績は・・・8.982km（裏に各事務所での実績を掲載してあります）



